

<事後レポート>

ジェットスター・ジャパン、周遊チャーター機を活用した 学生・親子向け航空教育プログラムに協力

- 2020年10月25日(日)に成田発成田行きの航空教育チャーターフライトを運航
- 日本の景勝地を空の上から見ながら航空職業体験の機会を34組93名のご家族に提供
- 新たな選択肢「LCCで気軽なチャーターフライト」を今後も積極的に推進



(当日の航空教育プログラムの講師役を務めたジェットスター・ジャパン パイロットの西崎 圭)

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、2020年10月25日(日)、航空機チャーター専門旅行会社である株式会社JMRS(本社:東京都新宿区、代表取締役:中鉢真輔)が同社の5周年イベントとして企画・主催した「空飛ぶ学び舎ー学生・親子向け『周遊チャーター機を活用した航空教育プログラム』」の実施に協力しました。

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、短縮授業やインターネットを利用したリモート授業が増える一方、感染拡大防止の観点から修学旅行や社会見学などが中止・延期となるケースが増えています。そのような状況のなか、子供たちに「本物の飛行機で航空業界に関する学びの場を提供しながら本物の思い出作り」をお手伝いしたいとの思いから、JMRSでは「航空教育プログラム」を企画しました。ジェットスターはその企画趣旨に賛同し、感染防止対策を徹底しながら教育効果の高いコンテンツ作りにも貢献するべく、本プログラムに参画しました。

当日は、34組93名の親子に富士山を周遊する成田発成田行きのフライトにご参加いただきました。機内には、飛行機を操縦する機長と副操縦士に加えて、もう1名現役のパイロットが搭乗し、日本有数の景勝地ならびに飛行機およびパイロット業務について解説しました。職業体験の一つとして、参加した学生に客室乗務員が機内で行っているアナウンスも体験していただきました。

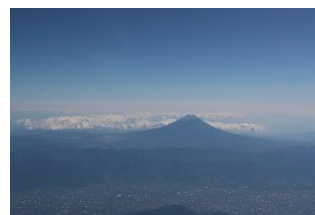
チェックインカウンターからワクワク感溢れる「空の学び舎」フライト

当日は久しぶりに飛行機を利用するお客様や、初めて飛行機に乗ったお子様も多く、搭乗手続きをする間も興奮を抑えきれない様子が伺えました。本日の周遊フライトを「楽しみにしていた」と声を弾ませながら、お客様は空港で思い思いのポーズで写真撮影を楽しんでいました。そして、いよいよ搭乗開始。駐機場のエプロンルーフを抜けると目の前にこれから乗り込む飛行機がはっきりと見え、一步一步踏みしめながらステップを登っていく姿は、全て体験・吸収しようとしているようでした。飛行機の出発前に、JMRS 代表取締役の中鉢氏よりご挨拶があり、成田発成田行きの GK1003 便はほぼ定刻に成田国際空港第3旅客ターミナルの162番スポットから出発しました。



現役パイロットから日本の景勝地や飛行機について解説

GK1003 便は、A 滑走路(34L)を使用して雲一つない青空へと飛び立ちました。巡航高度に入ってから、普段は機長として飛行機を運航している西崎が講師を務め、使用機材のエアバス A320 型機やその運航方法などについて解説を開始。その内容を全て書き残そうとペンを必死に走らせる姿がそこかしこありました。富士山が眼下に見える始めた頃から機内のあちこちでカシャカシャとシャッター音が。通常の航路では高度約 11,000m を運航するも、この日はおよそ半分となる約 6,000m。さらに通常の定期運航便よりも半分程度の速度となる時速約 450km で運航していたこともあり、普段よりも近くまたより長い時間富士山をみることができました。その後、諏訪湖、南アルプス、御嶽山、浜名湖など日本の景勝地の上空を通過するたび、子供たちは食い入るように窓の外を眺めていました。



お客様による客室アナウンス体験

当日、抽選で選ばれたお客様に客室アナウンスを体験していただきました。初めて手にするアナウンス機材に戸惑いながらも、アナウンスを淀みなく日本語と英語で読み上げることができて満面の笑み。お客様の前で初めてアナウンスすることに緊張を覚えながらも最後まで丁寧に読み上げました。アナウンス体験終了後には、温かい拍手の音が機内を満たしました。



航空豆知識クイズを実施

幅広い年齢層のお客様に参加していただいていることから、巡航中、航空豆知識クイズを実施したほか、実際の業務で使用する運航情報などを搭乗証明書に記録しながら、パイロット業務の一部を体験しました。クイズでは拳手代わりにコールボタンを押す子供たち。講師役の西崎は、子供たちの興味関心度合いの高さに驚きながらも時間が許す限り丁寧に解説しました。



エアバス A320 型機のcockpitに興味津々

一連の航空教育プログラムを実施後、GK1003 便は B 滑走路(34R)を使用して、14 時 47 分に 161 番スポットに到着しました。「楽しかった」「あつという間だった」「また乗りたい」と名残惜しむ声が聞こえるなか、お客様の降機が開始となりました。ジェットスターでは通常cockpitドアを開けており、飛行機から降りる際、子供たちはその先に見える操縦席や計器類に興味津々。ステップを降りたあとも即座に振り返り、今乗ってきた飛行機を見上げながら何枚も写真に収め、撮ったばかりの写真をじっと見つめていました。「本物の飛行機」に搭乗しての体験が、航空業界に対するさらなる興味・関心につながったのではないかと実感できる場面でした。



「LCC で気軽なチャーターフライト」を新たな選択肢として提供

ジェットスターでは、2018 年 2 月 26 日に初めてチャーター便を運航しました。当時はまだ就航していなかった高知龍馬空港から 2018 年 12 月に就航したばかりの宮崎ブーゲンビリア空港まで運航し、高知市春野町で開催された「2018 プロ野球プレシーズンマッチ」に出場する千葉ロッテマリーンズおよび埼玉西武ライオンズの選手および球団関係者にご利用いただきました。ジェットスターは今後も、「LCC で気軽なチャーターフライト」という新しい選択肢を提供し、思い出作りにつながる新たな学習の場や地域交流のさらなる活性化に貢献できるよう努めてまいります。



【開催概要】

- タイトル： 空飛ぶ学び舎－学生・親子向け『周遊チャーター機を活用した航空教育プログラム』
- 日時： 2020 年 10 月 25 日(日)12:30 成田空港発、14:00 成田空港着
- 対象： JMRS 5 周年イベント ご招待 お子様および保護者様 34 組 93 名
- 参加費： 無料
- 内容： 富士山を周遊しながら、機内でパイロットによる仕事説明や機内アナウンス体験などの航空教室を実施
- 企画・主催： 株式会社 JMRS
- 協力： ジェットスター・ジャパン株式会社

株式会社 JMRS について

2015 年、航空機チャーターに専門特化した旅行会社として設立し、大型旅客機を中心とした国内外発着のチャーター機手配に取り組んで参りました。「チャーター機活用による新たな移動ソリューションの提供」をモットーに今後も様々な取り組みに挑戦して参ります。熊本地震・屋久島災害等様々な災害派遣で旅客機チャーター運用にて貢献しております。今後は政府チャーターの他に教育分野に貢献出来るよう航空機チャーターを通して価値提供をしていきます。

<https://www.jmrs.jp>

ジェットスター・ジャパンについて

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市に就航し、国内16路線を25機のエアバスA320型機(180席)で運航しており、就航から3,500万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>